

■ 特集 ■

ニーズのある子どもたちの 未来を考える

——支援のあり方を巡って——

現在の日本では、虐待等により不適切な養育を受けている子どもの数は増加の一途を辿り、少子化が進行しているにも関わらず、児童相談所が対応した虐待相談件数は毎年増加している。

1989年に国連総会で採択され1994年に日本で批准された「児童の権利に関する条約」は、子どもが大人から安心・安全な生活等を守られる権利や子どもの意見表明権などを保障している。しかし、日本では不適切な養育を受けている子どもが増加し、子どもが子どもらしく生きる権利が剥奪されている実態がある。子ども期に適切な支援を受けないと、社会不適応を起こすおそれが大きくなる。

子どもの健全な発達を保障するためには、個々のニーズに合わせた支援が必要であるため、子どもをめぐる諸問題の解決に向けて様々な視点から知見を得ることが重要である。本特集では、社会的養護、精神医学・精神医療の分野における子ども支援の現状と課題を報告する。

